



試験結果報告書



株式会社 イングス 殿

一般財団法人 日本塗料検査協会 西支部
 支部長 山田 卓司
 〒573-0164 大阪府枚方市長尾谷町1丁目20番3

依頼No. 205311

報告日：2020年6月26日

支部長	担当者

品名	FFコート(抗菌)	試験受付日	2020年5月22日
		試験採取日	— 年 — 月 — 日
		試験採取場所	—
製造者	株式会社 イングス	試験数量	下記参照

1. 試験項目及び試験方法

(1) 試験項目：促進耐候性（キセノンランプ法）480時間

試験方法：JIS K 5600-7-7:2008 促進耐候性及び促進耐光性（キセノンランプ法）に準ずる。

方法：方法1（促進耐候性）

試験片ぬれサイクル：サイクルA

評価項目：膨れ, 割れ, はがれ

評価試験片：FFコート(抗菌)塗装済み試験片, ブランク

試験基板(木材 70×70×15mm)

(2) 試験項目：ホルムアルデヒド放散量の測定 デシケータ法

試験方法：JIS K 5601-4-1:2012 「塗料成分試験方法—第4部:塗膜からの放散成分分析—第1節:ホルムアルデヒド放散量の求め方」5. デシケータ法に準ずる。但し、依頼者の指示により結晶皿の水の量は100mLとした。

(3) 試験項目：透湿度

試験方法：JIS A 6909:2014 建築用仕上塗材 7.13 透水試験B法に準じる。

評価試験片：FFコート(抗菌)塗装済み試験片, ブランク

試験基板(木材 110×110×15mm)

余白





試験結果報告書

株式会社 イングス 殿

一般財団法人 日本塗料検査協会 西支部
 支部長 山田 卓司
 〒573-0164 大阪府枚方市長尾谷町1丁目20番3

依頼No. 205311

2. 試験結果

試験結果を表1に示す。

表1 試験結果

試験項目	試験片	試験結果
促進耐候性 (キセノンランプ法) 480時間	FFコート(抗菌) 塗装済み試験片	異常を認めない。
	ブランク※	試験基板の割れを認める。
ホルムアルデヒド 放散量の測定 デシケータ法	FFコート(抗菌)	不検出(測定下限値 0.03mg/L)
透水性	FFコート(抗菌) 塗装済み試験片	0.53mL
	ブランク	6.05mL

※塗膜がないため割れのための評価とした。

3. 塗装仕様

提出された塗装仕様を表2、提出試料を表3に示す。

表2 塗装仕様(ホルムアルデヒド放散量の測定 デシケータ法)

品名	混合割合 (質量比)	希釈液の 種類及び 希釈割合 (%)	塗付け量 (kg/m ²)	塗装 方法	塗装 間隔 (h)
FFコート(抗菌)	—	—	0.02	刷毛 塗り	—

表3 提出試料

品名	Lot No.	数量
FFコート(抗菌) 塗装済み試験片	—	2個
ブランク	—	2個
FFコート(抗菌)	—	300mL

以上



試験結果報告書

株式会社 イングス 殿

一般財団法人 日本塗料検査協会 西支部
 支部長 山田 章司
 〒573-0164 大阪府枚方市長尾谷町1丁目20番3



依頼No. 205312

報告日：2020年6月26日

支部長	担当者

品名	FFコート(UV)抗菌	試料受付日	2020年5月22日
		試料採取日	— 年 — 月 — 日
		試料採取場所	—
製造者	株式会社 イングス	試料数量	下記参照

1. 試験項目及び試験方法

- (1) 試験項目：促進耐候性（キセノンランプ法）480時間
 試験方法：JIS K 5600-7-7:2008 促進耐候性及び促進耐光性（キセノンランプ法）に準ずる。
 方法：方法1（促進耐候性）
 試験片ぬれサイクル：サイクルA
 評価項目：膨れ, 割れ, はがれ
 評価試験片：FFコート(UV)抗菌塗装済み試験片, ブランク
 試験基板(木材 70×70×15mm)

2. 試験結果

試験結果を表1に示す。

表1 試験結果

試験項目	試験片	試験結果
促進耐候性 (キセノンランプ法) 480 時間	FFコート(UV)抗菌 塗装済み試験片	異常を認めない。
	ブランク※	試験基板の割れを認める。

※塗膜がないため割れのための評価とした。

3. 塗装仕様

提出された提出試料を表2に示す。

表2 提出試料

品名	Lot No.	数量
FFコート(UV)抗菌 塗装済み試験片	—	1個
ブランク	—	1個

以下余白